

令和8年3月30日

報道関係者各位

国立大学法人福島大学

## 子どものサプリメント利用における専門職への「相談」の役割を検証 — 全国調査に基づく有害事象報告との関連分析 —

福島大学食農学類の種村菜奈枝准教授は、子どもがサプリメントを利用する前に、その保護者が医師、薬剤師や栄養士等の専門家へ相談する状況に着目し、子どものサプリメント利用に伴う有害事象報告との関連について調査しました。

その結果、事前に専門家への相談経験がある保護者の子どもにおいて、有害事象が報告される可能性が相対的に高くなる傾向が確認されました。

これは相談行為そのものが有害事象の原因であることを示すものではなく、懸念があって専門家へ相談したことから、結果的に有害事象が報告されやすいという背景の違いが反映されている可能性を示唆しています。このことから、子どものサプリメント利用に関する支援体制の検討が必要であると考えられます。

本研究の成果は、2026年2月26日に、食品に加えて栄養に関連する幅広い科学分野を扱う国際専門誌「Nutrition and Food Science」にオンライン掲載されました。

### ◎ 研究の背景

健康意識の高まりにより、子どもにサプリメントを与える家庭が増えています。一方、サプリメントは成分や製品が多様化されており、子どもへの使用にあたっては専門家への相談が重要とされています。しかし、日本では、子どもがサプリメントを利用した場合の健康影響に関するデータは限られており、相談が健康被害の未然防止にどの程度寄与しているかについては十分に検証されていません。

### ◎ 研究の方法

2024年11月から12月にかけて、日本全国の保護者368名を対象としたオンライン横断調査を実施しました。子どものサプリメント利用状況および利用前の専門家への相談経験と、サプリメント利用後の体調不良（有害事象）報告との関連について統計解析を行いました。

### ◎ 研究の結果

子どもにおける栄養補給目的での利用において、サプリメント摂取後の新たな体調不良が認められた子どもは、16.2%と一定割合で存在していることが明らかとなりました。この結果は、子どもがサプリメントを利用する際には、体調不良（有害事象）が起こる可能性を考慮する必要があることを示しています。

また栄養補給目的での子どもの利用においては、サプリメント利用前に保護者が専門

家へ相談したグループで、体調不良が報告される可能性が高い傾向が認められました。

この傾向は、保護者および子どもの年代等の属性を考慮して補正するための追加解析を実施した後でも維持されました（調整オッズ比 6.30、95%信頼区間 2.62-15.15）。

## ◎ 考察

今回の結果は「専門家へのサプリメント利用前相談が役に立たない」ことを意味するものではありません。むしろ、子どもの健康状態に不安を感じている保護者ほど、利用前に専門家へ相談する傾向があり、そのような背景をもつ家庭では、サプリメント利用に伴う体調不良（有害事象）が生じやすい可能性が考えられます。

このことから、専門家へのサプリメント利用前相談は単なるサプリメント選びの助言の場ではなく、子どもの健康状態や保護者の不安や購買動機を把握する重要な機会であると考えます。今後は、このような相談の場を活かし、子どもの健康状態や保護者の状況に応じた適切な利用環境の構築につながる助言へと発展させていくことが重要です。

## ◎ 論文情報

- 掲載雑誌：

Nutrition and Food Science

- 発表タイトル：

Association between Parental Consultation with Healthcare Professionals before Supplement Purchase and Adverse Events in Children

- 発表者：

Nanae Tanemura (Fukushima University)

- 掲載論文 URL (DOI)

<https://doi.org/10.1108/NFS-03-2025-0083>

## ◎ 研究支援

本研究は、令和6年度 消費者庁 食品衛生基準行政推進調査事業費補助金（食品安全科学研究事業）の助成を受けて実施されました。

## ◎ 報道機関関係者の方々へのお願い

記事の際には「福島大学の研究成果」であることを明記いただけますと幸いです。

## ■ 国立大学法人福島大学 食農学類について

本学類では、東日本大震災・原発事故からの復旧・復興の取り組みを通して、各地の農林業・食品産業・地域社会で貢献しています。また、生産環境・農林業・食品産業・消費者の連鎖であるフードチェーンに対応したコースがそれぞれ配置されている点に特徴があります。

## ■ 用語解説

### ○ サプリメントとは

いわゆる「健康食品」のことを指す。法律上の統一された定義はなく、健康の維持増進を目的として利用される食品全般を指す通称である。この中には、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品といった制度に基づく食品のほか、制度上の位置づけを持たない食品も含まれる。一般的に、ビタミンやミネラルなどを錠剤・カプセル・粉末など、医薬品と似た形状で摂取する食品を指す場合も多いが、いずれも食品に分類される。

### ○ 有害事象とは

いわゆる「健康食品」の摂取後に生じた体調不良などの好ましくない健康影響を指す。これには、摂取との因果関係が明確でないものも含まれ、いわゆる「健康食品」に関連した健康被害の可能性を把握するため、保健所を介して幅広く収集・評価されている。

(お問い合わせ先)

#### 【研究に関すること】

福島大学 食農学類

准教授 種村 菜奈枝

電話：024-503-4978

メール：nanae.tanemura@cc.musashi.ac.jp

(種村研究室ホームページ)

<https://www.foodrs-lab.com/>

#### 【広報に関すること】

福島大学 総務課広報係

電話：024-548-5190

メール：kouho@adb.fukushima-u.ac.jp